

## 新技術説明会・新技術フォーラム等の開催実績(前半)

No.1 H13 年度 名称:JSTの特許化支援事業「特許説明会」	予算額 0 千円
目的: 大学、公設研究機関の技術者を対象に、JSTの特許化支援事業について、科学技術振興事業団企業化開発事業本部より特許主任調査員を招き、特許説明会を開催した。	
開催時期:平成 13 年 11 月 29 日(木)	
開催場所:高知県工業技術センター 会議室	
参加者:大学 12 名、工業技術センター3 名、企業 1 名、県行政 1 名、財団 6 名:計 23 名	

No.2 H13 年度 名称:JST事業及びRSP事業説明会	予算額 0 千円
目的: 高知県で平成 13 年度より事業団のRSP事業を実施することについて、大学の多くの関係者にJSTの事業特に地域振興事業とRSP事業、特許支援制度等を説明して大学の研究シーズ調査の協力を要請した。	
開催時期:平成 13 年 11 月 30 日(金)	
開催場所:高知女子大学	
参加者:大学 6 名、県行政 2 名、産業振興センター2 名:計 10 名	

No.3 H13 年度 名称:JST事業及びRSP事業説明会	予算額 0 千円
目的: 高知県で平成 13 年度より実施しているRSP事業を、多くの大学関係者に知って頂くため、高知工科大学教員懇談会の席を借りて、JSTの地域振興事業、RSP事業と育成試験の仕組み等を説明し、研究シーズ調査の協力を要請した。	
開催時期:平成 13 年 12 月 3 日(月)	
開催場所:高知工科大学	
参加者:大学 36 名、財団 4 名:計 40 名	

No.4 H13 年度 名称:JST事業及びRSP事業説明会	予算額 0 千円
目的: 高知県で平成 13 年度より実施しているRSP事業を、多くの開発関係者に知って頂く会議を開催した。今回は高知県工業技術センターで、JSTの事業とRSP事業等を説明し、研究シーズ調査の協力を要請した。	
開催時期:平成 13 年 12 月 17 日(月)	
開催場所:高知県工業技術センター	
参加者:工業技術センター26 名、財団 4 名:計 30 名	

No.5 H13 年度 名称:JST事業及びRSP事業説明会	予算額 0 千円
目的: 高知県で実施しているRSP事業を、多くの開発関係者に知って頂くため、高知県県立紙産業技術センターで、JSTの地域振興事業とRSP事業と、育成試験の仕組み等を説明し、研究シーズ調査の協力を要請した。	
開催時期:平成 13 年 12 月 18 日(火)午前;紙 午後高知大学	
開催場所:高知県立紙産業技術センター、高知大学農学部	
参加者:紙産業技術センター6 名、財団 4 名:計 10 名	

No.6 H13 年度 名称:産学交流サロン(健康食品の商品化に向けて)	予算額 0 千円
目的: 高知医科大学西岡豊教授はビワの種子から抽出したエキスに肝機能改善効果があることを、動物実験および臨床試験で明らかにした。これを利用した健康食品の開発が期待され、県内の関係企業を集め、講演会を開催した。その結果、県内企業から健康食品の開発は出来なかったが、香川県の日本ファルマから健康飲料として商品化された。商品名を「琵琶観音」として、1本 100cc 260 円で平成 16 年度より生産販売中。	
開催時期:平成 14 年 3 月 18 日(月)	
開催場所:高知県産業振興センター	
参加者:企業 15 名、財団 5 名:計 20 名	

No.7 H14 年度 名称:JST事業及び RSP 事業説明会	予算額 0 千円
目的: 高知県で平成 13 年度より事業団のRSP事業を実施することになったので、関係者に事業団事業の紹介を行う会議を開催した。今回は高知県森林技術センターにおいて、JSTの事業特に地域振興事業とRSP事業について、育成試験の仕組み等を説明しセンターにおける研究シーズ調査の協力を要請した。	
開催時期:平成 14 年 6 月 7 日(金)	
開催場所:高知県森林技術センター	
参加者:森林技術センター6 名、財団 4 名:計 10 名	

No.8 H14 年度 名称:JST事業及び RSP 事業説明会	予算額 0 千円
目的: 高知県で平成 13 年度より事業団のRSP事業を実施するについて、大学等の関係者に事業団事業の紹介を行う会議を開催した。今回は高知県農業技術センターにおいて、JSTの事業特に地域振興事業とRSP事業について、育成試験の仕組み等を説明しセンターにおける研究シーズ調査の協力を要請した。	
開催時期:平成 14 年 6 月 12 日(水)	
開催場所:高知県農業技術センター	
参加者:農業技術センター11 名、財団 4 名:計 15 名	

No.9 H14 年度 名称:「国際新技術フェア2002」への出展	予算額 100 千円
目的:平成 13 年度育成試験「便座と車椅子間の巡回移動式自動介助装置」(高知工科大学横川明教授)及び「高耐震性建築鉄骨製作法の開発」(高知大学内田昌克教授)の実演展示。	
開催時期:平成 14 年 9 月 25 日(水)~27 日(金)	
開催場所:東京ビッグサイト	
参加者:JST 関連展示会場の高知県ブースへの延べ来訪者:計 300 余名	

No.10 H14 年度 名称:JST事業及びRSP事業説明会	予算額 0 千円
目的: 高知高専主催で「レーザー研究会」が開催され、その中で代表科学技術コーディネータが事業団事業および RSP 育成試験について説明し、高知高専における研究成果の調査への協力を要請した。	
開催時期:平成 14 年 9 月 30 日(月)	
開催場所:高知工業高等専門学校	
参加者:高専 45 名、工科大 2 名、財団 3 名:計 50 名	

No.11	H14 年度 名称:RSP成果説明会 2002～新技術との出会い	予算額 200 千円
<p>目的:平成 13 年度に実施したRSP育成試験の成果を実用化するため、全国の企業の参加のもとに、RSP成果発表会 2002～新技術との出会い～と銘打って開催した。全 10 課題を展示実演し、内 5 件を講演した。</p> <p>内容:○ 特別講演;「新技術とその事業化について」(高知工科大学 副学長 水野博之) ○ 事業説明;「高知県RSP事業について」笹部馨代表コーディネータ ○ 新技術発表 5 件; ①「高耐震性建築鉄骨製作法の開発」&lt;耐震性能の飛躍的向上と工期短縮とコストダウンを実現する新建築鉄骨溶接施工法&gt; ②「無線LANによる地域情報化ネットワークの開発」&lt;中山間地の生活と生産活動を便利にする無線情報ネットの実現&gt; ③「海洋深層水による海藻の大量培養システムの開発」&lt;清浄で窒素やリン酸の豊富な深層水による大量周年栽培法&gt; ④「海洋深層水の食品への利用技術の開発」&lt;成分調整された海洋深層水による水産練製品の品質の改善&gt; ⑤「便座と車椅子間の回旋移乗式自動介助装置の開発」&lt;車イスから食堂のイスやトイレの便座へ一人で楽に移乗できる介助装置&gt; ○ パネル展示 10 件; H13 年度育成試験全課題について展示説明した。</p>		
開催時期:平成 14 年 11 月 13 日(水)		
開催場所:オリエンホテル高知		
参加者:産業界から 47 名、大学等から 22 名、事業団及び他財団 9 名、公設試 6 名、高知市及び高知県 6 名、当財団 8 名の合計 98 名であった。		

No.12	H14 年度 名称:JST特許セミナー	予算額 0 千円
<p>目的: 高知大学の教官の多くに特許制度に多くの関心を持って頂くために、高知大学地域共同研究センターが特許セミナーを共催し、その中で JST の特許制度を代表科学技術コーディネータが説明した。</p>		
開催時期:平成 14 年 12 月 9 日(月)		
開催場所:高知大学		
参加者:大学 22 名、産業振興センター3 名:計 25 名		

No.13	H14 年度 名称:産学交流サロン(オープンセミナー)	予算額 0 千円
<p>目的: 大学と産業界との交流を図るため、高知大学農学部生物資源科学科生物資源利用化学研究室及び栽培漁業学科水産利用学研究室の研究室公開を行った。</p>		
開催時期:平成 14 年 12 月 12 日(木)		
開催場所:高知大学農学部		
参加者:企業 7 名、大学 5 名、財団 5 名:計 17 名		

No.14	H14 年度 名称:産学連携セミナー(共同研究および特許取得のすすめ)	予算額 0 千円
<p>目的: 最近、大学研究者は基礎研究を進めるだけでなく、企業等と連携して研究を発展させ、さらに特許化や企業化を図り、それらの成果を地域、社会に還元するため、第 3 回産学連携セミナーとして共同研究及び特許取得のすすめを開催し、RSP 事業及び国補事業について科学技術コーディネータが説明した。</p>		
開催時期:平成 15 年 1 月 14 日(火)		
開催場所:高知大学農学部		
参加者:大学 23 名、産業振興センター2 名:計 25 名		

No.15	H15 年度	名称:RSP事業及び育成試験推進説明会	予算額	0 千円
目的:平成 15 年度育成試験推進について研究、事務処理の両面から留意を説明。				
開催時期:平成 15 年 4 月 17 日(木)				
開催場所:高知工科大学				
参加者:大学 9 名、財団 4 名:計 13 名				

No.16	H15 年度	名称:RSP事業及び育成試験推進説明会	予算額	0 千円
目的:平成 15 年度育成試験推進について研究、事務処理の両面から留意点を説明した。				
開催時期:平成 15 年 4 月 25 日(金)				
開催場所:高知工業高等専門学校				
参加者:高専 7 名、財団 4 名:計 11 名				

No17	H15 年度	名称:RSP事業説明会	予算額	0 千円
目的:本県では RSP 事業が平成 13 年 7 月からスタートしたが、これまで畜産試験場では RSP 事業が説明されていなかったので、RSP 事業の説明と育成試験への応募を薦めた。				
開催時期:平成 15 年 6 月 19 日(木)				
開催場所:高知県畜産試験場				
参加者:畜産試験場 9 名、財団 4 名:計 13 名				

No.18	H15 年度	名称:産学交流サロン in 高知大学	予算額	0 千円
目的:大学の成果を実用化するため、高知大学地域共同研究センターと高知県産業振興センターが共催で、「産学交流サロン in 高知大学」と題する大学の先生方と県内企業の方々との出会いの場を設けた。今回は高知大学理学部数理情報科学科の先生 3 人により研究内容の紹介、研究室訪問による設備紹介、技術相談等を実施した。				
開催時期:平成 15 年 6 月 24 日(火)				
開催場所:高知大学理学部				
参加者:企業 16 名、大学 10 名、県行政 1 名、財団 6 名:計 33 名				

## 新技術説明会・新技術フォーラム等の開催実績(後半)

No. H15 年度 名称:新技術との出会い-RSP成果説明会 2003-	予算額 329 千円
<p>目的:平成 14 年度に実施したRSP育成試験の成果を実用化するため、全国の企業の参加のもとに、RSP成果発表会 2003～新技術との出会い～と銘打って開催した。全 12 課題を展示実演し、内 6 件を講演した。</p> <p>内容: ○特別講演;「ものづくりの心」(高知県産業技術委員会 委員長 上林 匡) ○ 事業説明;「JSTの事業について」JST水野 充調査役 ○ 新技術発表 6 件; ①「微生物酵素による高β-グルカン含有真菌類の加工と定量に関する調査」&lt;β-グルカンを添加した清酒リキュールの開発&gt; ②「海洋深層水による海藻の大量培養システムの開発」&lt;清浄で窒素やリン酸の豊富な深層水によるアオノリの周年大量栽培法&gt; ③「360度画像合成システムを使った立体ウォークスルーシステムの開発」&lt;携帯電話のある場所から観光地への案内を景観で案内するシステム&gt; ④「データ駆動型高速ネットワークプロセッサの高機能化に関する調査研究」&lt;省電力かつ超高速なネットワークプロセッサの高機能化&gt; ⑤「レーザラマン分光によるその場観察に基づく新しい半導体プロセス技術及び装置の開発」&lt;計測しながらできる半導体デバイス加工技術&gt; ⑥「汚泥を路盤砂材としてリサイクルするための造粒装置の開発」&lt;建設廃棄物、建設汚泥のリサイクル技術&gt; ○パネル展示 12 件; H14 年度育成試験全課題について展示説明した。</p>	
開催時期:平成 15 年 11 月 14 日	
開催場所:高知市 オリエンホテル高知	
参加者(産学官各界から何人):産業界から 66 人、育成試験実施担当者はじめ学界から 25 人、JST水野 充調査役はじめ高知県 上林 匡委員長、当財団等行政から 24 人の合計 115 人であった。	

No. H15 年度 名称:JST技術移転支援フェア	予算額 0 千円
<p>目的:JSTが保有する新技術を実用化の観点から優しく解説して技術移転を促進する。「セレン汚染物質から安価で簡便に水溶性セレンを除去する方法」(高知大 康助教授)、「高活性な光触媒酸化チタン膜作用のゲル状前駆体」(高知大 西沢教授)の展示発表。</p>	
開催時期:平成 15 年 11 月 18～21 日	
開催場所:東京都江東区 東京ビッグサイト	
参加者(産学官各界から何人):ブース立ちよりの産学官関係者合計 約 150 名	

No. H16 年度 名称:新技術との出会い-RSP成果説明会 2004-	予算額 356 千円
<p>目的:平成 15 年度に実施したRSP育成試験の成果を実用化するため、全国の企業の参加のもとに、RSP成果発表会 2004～新技術との出会い～と銘打って開催した。全 12 課題を展示実演し、内 8 件を講演した。</p> <p>内容: ○特別講演;「大学の地域貢献について」(高知大学 学長 相良祐輔) ○ 事業説明;「JSTの事業について」JST小原満穂室長 ○新技術発表 8 件; ①「脊髄硬膜外電気刺激法による周術期血圧自動管理システムの開発」 ②「激増するアユ、サケ科魚類の冷水病対策経口ワクチンの開発」 ③「食事摂取量を画像処理により自動計測し最適給食を可能とする高機能療養システムの開発」 ④「科学的リハビリのための簡易型足底圧センサによる関節にかかる力、モーメント測定装置の開発」 ⑤「ユズ精油の効率的抽出と有効成分高度利用に関する研究 i) 高品質ユズ精油の製造に関する試験研究」 ⑥「黒酵母の水溶性β-グルカンの改良とペットフードとしての利用」 ⑦「模様修飾した水流交絡法による次世代不織布の開発」 ⑧「レーザー超音波によるコ</p>	

ンクリート構造物内部の非接触・非破壊検査システムの開発」⑨笹部代表科学技術コーディネータが高知県RSP事業を説明した。○パネル展示 12 件； H15 年度育成試験全課題について展示説明した。
開催時期:平成 16 年 11 月 16 日
開催場所:高知市 オリエンホテル高知
参加者(産学官各界から何人):産業界から 51 人、高知大学 相良祐輔学長はじめ学界から 25 人、JST小原満穂室長はじめ高知県、当財団等行政から 29 人の合計 105 人であった。

No. H16 年度 名称:地域発先端テクノフェア 2004	予算額 212 千円
目的:「震鉄骨建築の新展開 WAWO 工法+“X”工法(平成 13 年度育成試験)」「(株)アークリエイト経営最高責任者(CEO)(高知大 内田前教授)」、「黒酵母の水溶性 $\beta$ グルカンを利用したユズ酒の開発(平成 14 年度育成試験)」「(高知大 永田教授)」、「水熱反応を利用したガラス発砲板(平成 13 年度育成試験課題関連)」「(高知大 柳澤教授)について展示発表。	
開催時期:平成 16 年 9 月 29 日～10 月 1 日	
開催場所:東京都江東区 東京ビッグサイト	
参加者(産学官各界から何人):ブース立ちよりの民間企業、大学、行政、団体等合計 約 250 名	

No. H16 年度 名称:ジャパンホーム&ビルディングショー	予算額 0 千円
目的:新技術による環境建築への理解を深めてもらう。(株)アークリエイトが展示発表。平成 13 年度の育成試験の成果に加えて多くの関連溶接技術を公開して、需要を喚起した。	
開催時期:平成 16 年 11 月 16 日～19 日	
開催場所:東京都江東区 東京ビッグサイト	
参加者(産学官各界から何人):ブース立ちよりの産学官関係者合計 約 250 名	

No. H16 年度 名称:エコプロダクツ高知 2005	予算額 0 千円
目的:「交流」をキーワードに、環境関連ビジネスの商機拡大と循環型の地域社会創造を図る。RSP事業コーナーを設けて、次の育成試験の成果物品を展示した。①椅子からトイレへ楽に移れる「省力型回旋移乗装置(クルットポン)」「(身体障害者向け) ②椅子から楽に立ち上がれる「エアバッグ式起立補助具」(身体障害者向け) ③お湯を使わない「乾式の新しい機能風呂」(健常者エステ向け、身体障害者向け) ④患者が1人でできる安全な「歩行回復リハビリ用歩行器」(身体障害者向け) ⑤栄養管理に便利な「食事摂取量・栄養価の自動計測・記録器」(病院患者向け) ⑥スポーツ選手も、障害者も機能向上できる「科学的な機能向上・リハビリの補助装置」(健常者向け、身体障害者向け) ⑦米糠から黒酵母で作る $\beta$ グルカン(アガリクス茸に含まれ、抗ガン作用があるとされている)入りの「やさしいリキュール～ユズ酒」(高木酒造・発売中) ⑧深層水培養によるスジアオノリの「ノリ佃煮、ノリ入り蕎麦、乾燥ノリ」(加用物産・発売中) ⑨香りの王様「ユズ精油」(試作品) ⑩肝臓にやさしい健康飲料「琵琶観音」(参考出品)	
開催時期:平成 17 年 2 月 18 日～20 日	
開催場所:高知市 高知ちばさんセンター	
参加者(産学官各界から何人):ブース立ちよりの産学官関係者合計 約 350 名	

No. H17 年度 名称:新技術との出会い-RSP成果説明会 2005～2006-	予算額 405 千円
<p>目的:平成 16 年～17 年度に実施した育成試験の成果を、最終事業年度につき、2ヶ年分を終日かけて企業に開示した。2ヶ年間の育成試験 24 テーマをパネル展示(実物展示、実演付き)するとともに、その内 13 件を講演発表した。併せて平成 13 年度以降の5ヶ年間の育成試験の成果から 20 テーマについてパネル展示を行った。</p> <p>内容:○当財団理事長北添英矩の開会挨拶に続き、JST地域事業推進部部長 齊藤仁志様から主催者挨拶と「JSTの科学技術振興事業について」と題して、地域イノベーション創出総合支援事業を中心にJSTの地域研究開発推進事業の紹介を頂き、出席者はJSTの積極的な地域新技術育成施策を拝聴し力強く感じた。続いて光産業創成大学院大学 学長 中井貞雄先生から「新しい産学連携について」特別講演を頂き、地域貢献に有効な新しい産学連携や海外における産学連携の実態を紹介頂いた。学生が課題をもって企業に赴くインターンシップの紹介などがあった。続いて新技術の講演 13 課題を順に午前の部から午後の部にわたって聴講し、また、パネル会場で試作品とその実演を見せていただき、直接担当の先生方と交流して頂いた。最後に飛び入りで、笹部代表科学技術コーディネータが平成 13 年度以降の成果 20 課題に絞って解説し、RSP事業5ヶ年間のご協力に対する感謝を申し上げた。○講演 13 課題は以下の通りである。①天然物由来の加工薬品を用いた紙・不織布加工技術の研究 ②波長変換型フィルム用発光色素の開発と農業への応用研究 ③バクテリオファージ由来溶菌酵素を利用する多剤耐性黄色ブドウ球菌除菌法の開発 ④オゾンを用いたレジスト剥離に関する研究開発 ⑤ブリの類結節症に対する実用的なワクチンの開発 ⑥単細胞藻の高濃塩海水による培養と応用 (1)濃縮海洋深層水による微細藻デュナリエラの培養と藻体の機能性解明 ⑦ショウガを利用した発酵飲食品製造技術の開発 ⑧高分子微細表面制御による高耐久工業材料の開発 高知県工業技術センター ⑨回転体によって粒子を打ちつける方式の身体洗浄マッサージ装置の開発 ⑩黒潮圏に生息する有用酵母の探索と新たな発酵食品の開発 ⑪遠隔制御方式による高機能道路交通規制表示システムの開発 ⑫高速自動いりこ選別システムの開発 ⑬高齢者転倒予防のための機器開発およびその製品化 ○平成 16 年度、17 年度育成試験 24 課題の成果パネル展示、実演。平成 13 年以降の選別した 20 課題の成果パネル展示 ○交流会(出席約 60 名)</p>	
開催時期:平成 18 年 2 月 28 日	
開催場所:高知市内高知会館	
参加者;合計 117 名(企業 51 名、大学 34 名、行政 32 名)の参加があり、盛会裏に終了することができた。	